

この会は、「憲法9条を変えてはいけない」の一点で、あらゆる立場や考え方、世代の違いを越えて多くの人と共同し、九条を活かした平和のための活動を行う会です。みなさんの賛同、ご支援をお願いします。

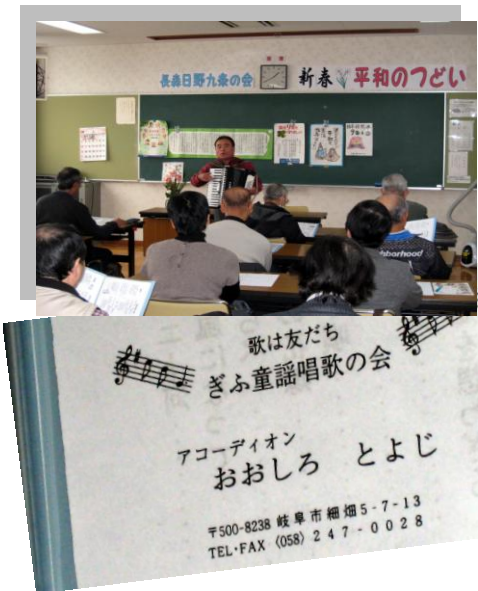
## 2010年《新春のつどい》開催

1月23日(土)「2010年新春のつどい」が「長森コミュニティセンター」で開催されました。大城さんのアコーディオンのリードで懐かしい唱歌やフォーク、平和の歌をみんなで合唱しました。続いて、NPO法人「仕事工房ポポロ」代表中川健史さんが「若者をとりまく諸問題と憲法」をテーマに、悩める若者たちの現実についてお話になり、みんなでいろんな角度から考え、語り合いました。

### 「歌は活力」、みんなで新春合唱

地域で歌声の活動を広げる沖縄出身の大城さん、「みんなで歌えば元気が出る」と自慢のアコーディオンと喉でみんなを懐かしい数々の歌の世界へリードしてくれました。

唱歌、フォーク、平和を願う歌が続ぎ、「沖縄を返せ」の歌へ♪そして「沖縄の基地が無条件で返還されるまでは、決して私たち沖縄人は沖縄が返されたとは思わない」と「沖縄を返せ」の歌を歌った熱い胸のうちを語られました。



### 賛同者がニューヨークへ 核兵器のない世界を

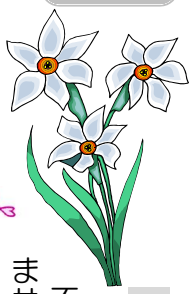


### NPT 再検討会議へ

つどいに参加された方が発言されました。「今年の5月3日、核拡散防止条約再検討会議がニューヨーク国連本部で開かれます。私は核兵器のない世界への希望と願いを届けにニューヨークへ行きます」。

オバマ大統領が核兵器を使用した唯一の国の責任として核兵器の無い世界を追求すると演説し、ノーベル平和賞を受賞しました。いろんな障害はあるものの、核廃絶に向けて世界の声は今、確実に高まっています。とくに被爆国としての日本の動きが注目されるといいます。

「これから一人でも多くの人の核廃絶の署名を集めて届けたいと思いますので、皆さんのご協力をお願いします」と要請されました。



### 『不登校、ひきこもり』から 子ども、若者問題』から

不登校、ひきこもり、ニート、いま共通の社会的背景があると長年彼らに向き合ってきた中川さんは語る。すさまじい競争社会の中に投げ込まれ、逃げ場がなく、人間性を求めて深く彼らに近づけられる自己責任論の風潮。憲法13条11個人人の尊厳が省みられない。そしてこの問題は、苦しみながら学校へ通っている若者や働いている多くの人たちにも共通し、若者から年配者にも広がっているという。

そして中川さんは「彼らは弱いのではなく、とても人間的で自省的な人々です。将来のために頑張れというのではなく、今日楽しく、明日楽しくあることが本当なのだと理解し、彼らが語る機会をつくり、その思いを聞き、受け止める場が必要なのです」と語られました。

### ぺんぼすた/NPO 法人仕事工房ポポロ/ 中川塾 代表中川健史さんの講演



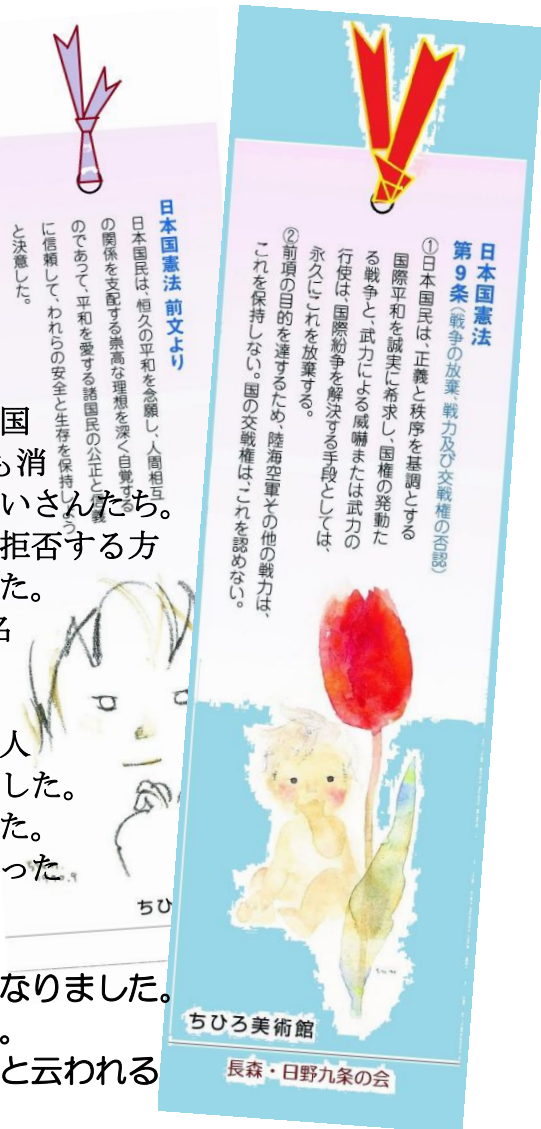
## 賛同署名で前一色訪問

1月16日(土)、気温は低いけど快晴、カイロをポケットに忍ばせ、集まった5名の仲間で長森前一色地区を訪れました。約2時間、行き交う人にもお声をかけ、いろいろなお話を交えながら100軒ほどのご家庭を訪問しました。

- ～お出かけ前で案内ビラを手渡すのがやっとなの方
- ～畑仕事の手を止めて話を聞いて署名して下さる方
- ～「浮かぶ無数の死体を棒で押しつけ飲み水を汲んだ」と中国での悲惨な戦争の体験を語り、「みんな死んで戦争のことも消えてしまう」と不自由な手で署名下さる日向ボッコのおじいさんたち。
- ～「強い軍隊を持たないと北朝鮮や他国に馬鹿にされる」と拒否する方
- ～孫の顔を見に来たジ〜ジ、若夫婦ともに署名してくれました。
- ～笑顔で対応の青年、「僕も九条の会に入ってますよ」と署名
- ～「アラッ 先生、お久しぶり！」とママも署名。

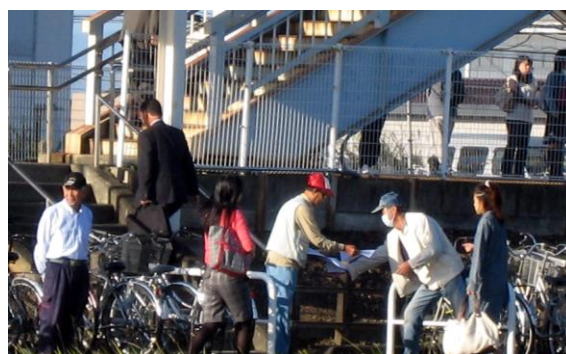
この地区にお住まいの若い人や年配の方、いろんな考え方の人と語り合いながらの署名活動、とても充実感の味わえる一時でした。お話しできた方の7〜8割の方が賛同署名に応じて頂きました。この日集まった賛同署名数は、42名。イヤ、最後に立ち寄った喫茶店のママにも署名してもらったので43名かな。

長森日野九条の会の活動を支える賛同者数は、660余名となりました。地域の隅々まで、お住まいのみなさんと語り合いたいですね。この町では「平和についてのことは長森日野九条の会だね」と云われるようになるといいですね。



## 新春のパネル活動実施

恒例となった長森駅前パネルアピール活動、今年の1回目は1月8日(金)に行いました。さすがに1月、陽が昇るまでは田畑も凍りパネルを立てるのも一苦勞、でも行き交う人の「御苦勞さま」の掛け声に元気をもらい「つどい案内ビラ」や「9条しおり」を配りました。



昨年3月にスタートしたパネル活動、田起こしから水張り田植え、稲穂の成長から稲刈りと周りの風景が変わり、もうすぐ1年、少しずつ顔見知りも。長森駅の風物詩として、そして自由に意見を交えることのできる場所として長く定着するといいですね。みんなでこの活動を盛り上げていきたいですね。